

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 群馬大学

(2) 大学名

群馬大学

(3) 大学の位置

〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町4-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 「該当なし」

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
社会情報学部 社会情報学科 学士 (社会情報学)	4年	100人	3年次 20人 年次人	440人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 (-) [-]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.00倍	
志願者数	385 (-) [5]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	269 (-) [3]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	123 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	100 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] (-) 100	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		[] ()
4年次					/		[] ()	[] ()		[] ()
計			[] (-) 100	[] ()			[] ()	[] ()		[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	100 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		%
合 計	100 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<社会情報学部学部 社会情報学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目 (別紙参照)	教養基盤科目	学びのリテラシー (1)	1前	2			2	1					担当教員の都合により2名(教授)減員 1名(准教授)追加(28)
		学びのリテラシー (2)	1後	2			4	2				50	担当教員の都合により1名(教授)追加 1名(准教授)減員 4名(兼)追加(28)
		英語	1・2 前・後	1			1	2				5	担当教員の都合により1名(准教授)減員 1名(兼)追加(28)
		スポーツ・健康 情報	1前・後 1前	3 2								兼4	※実習
		就業力	1前	2			1	1					担当教員の都合により1名(教授)減員 1名(准教授)追加(28)
		小計 (6科目)	—	12			11	5				16	教育課程充実のため教員を追加(28)
	教養育成科目	人文科学科目群	1・2・3・4 前・後	2			2					兼12	担当教員退職のため1名減員(28)
		社会科学科目群	1・2・3・4 前・後	2			3	3				兼11	担当教員の都合により1名(教授)減員 11名(兼)追加(28)
		自然科学科目群	1・2・3・4 前・後	2			2	1				兼13	教育課程充実のため担当教員を1名追加(28)
		健康科学科目群	1・2・3・4 前・後	2								兼17	教育課程充実のため担当教員を3名追加(28)
		外国語教養科目群	1・2・3・4 前・後	1				1				兼14	教育課程充実のため教員を13名追加(28)
		総合科目群	1・2・3・4 前・後	2			1	1				兼16	
	小計 (6科目)		11			8	6						
	コア科目	入門科目	社会情報学基礎論	1前	2			2	1	1			
情報社会基礎論			1後	2					1				
小計 (2科目)			—	4			2	1	1				
メディア		情報メディア基礎論	1後	2					1				
		マスメディア論	2前	2				1					
		ソーシャルメディア論	2後	2					1				
小計 (3科目)		—	6				1	1					
コミュニケーション		社会的コミュニケーション基礎論	1後	2			1						
		心理学的コミュニケーション基礎論	1後	2			1						
		異文化コミュニケーション基礎論	2前	2								兼1	
	マス・コミュニケーション基礎論	2後	2				1						
小計 (4科目)	—	8			2	1							

情報科目	情報と職業	2前	2			1				兼1		
	情報社会と人権	2後	2			1						
	情報倫理	2後	2									
	小計(3科目)	—	6			2						
研究方法科目群	研究方法基礎論	1前	2					4		兼1	※演習	
	研究方法A(事例研究法)	1後		2		1					※演習	
	研究方法B(文献研究法)	2前		2		2					※演習	
	研究方法C(サーベイ・アンケート研究法)	1後		2			1				※演習	
	研究方法D(実験研究法)	2前		2		1					※演習	
	研究方法E(オペレーションズ・リサーチ)	2前		2		1					※演習	
	小計(6科目)	—	2	10		4	1	1				
データ解析科目群	基礎数学A	1前		※2						兼1	※A, Bいずれか2単位必修	
	基礎数学B	1前		※2							兼1	※演習
	データ解析基礎(統計学)	1後	2					1		※演習		
	データ解析A(応用統計学)	2前		☆2				1		☆いずれか1科目2単位必修		
	データ解析B(多変量解析)	2後		☆2						※演習		
	データ解析C(回帰分析)	2後		☆2			1			※演習		
	データ解析D(データマイニング)	2後		☆2			1			※演習		
	小計(7科目)	—	2	12			2	1				
リサーチスキル科目	情報処理基礎	1後	2			1				兼1	※実習	
	プログラミングⅠ	1後	2			1	1		1		※実習	
	情報の数理	2前	2			1	1			兼1	※実習	
	情報基盤Ⅰ	2前	2			1					※実習	
	記号論理学	2前		2		1				兼1	※実習	
	プログラミングⅡ	2前		2			1				※実習	
	データ構造とアルゴリズム	2後		2			1			兼1	※実習	
	データベース	2後		2			1				※実習	
	コンピュータシステム	3前		2		1				兼1	※実習	
	情報基盤Ⅱ	3前		2		1					※実習	
	情報セキュリティ	3後		2		1	1				※実習	
	小計(11科目)	—	8	14		2	1		1			
コミュニケーションスキル科目	専門外国語Ⅰ-A(ディスカッション・ディベート)	2前		2						兼1	※演習	
	専門外国語Ⅰ-B(ライティング)	2前		2							兼1	※演習
	専門外国語Ⅰ-C(リスニング)	2前		2						兼1		※演習
	専門外国語Ⅰ-D(ビジネス・イングリッシュ)	2前		2							兼1	※演習
	専門外国語Ⅰ-E(TOEIC/TOEFL)	2前		2						兼1		※演習
	集中英語	1後		2							兼1	※演習
	専門外国語Ⅱ-A(原書講読)	2後		2		1				兼1		※演習
	専門外国語Ⅱ-B(原書講読)	2後		2			1				兼1	※演習
	専門外国語Ⅱ-C(原書講読)	2後		2			1			兼1		※演習
	専門外国語Ⅱ-D(原書講読)	2後		2							兼1	※演習
	専門外国語Ⅱ-E(原書講読)	2後		2						兼1		※演習
	専門英語短期派遣		1・2・3・4 前・後 2後	2								兼1
		小計(12科目)	—		24		1	2				

担当教員が平成28年10月1日付で採用予定のため、着任までの間、兼任教員にて対応(28)

※A, Bいずれか2単位必修
※演習
☆いずれか1科目2単位必修

※実習
※実習
学生に分かりやすくするため授業科目名称を変更
1→Ⅰ (28)

※実習
※実習
学生に分かりやすくするため授業科目名称を変更
1→Ⅰ (28)

※実習
※実習
学生に分かりやすくするため授業科目名称を変更
2→Ⅱ (28)

※実習
※実習
学生に分かりやすくするため授業科目名称を変更
2→Ⅱ (28)

履修の選択肢を増やすため配当年次を拡大(28)

表現 スキル 科目	プレゼンテーション	3前	2		1				兼1 兼1 兼1	※演習
	論理的日本語表現	2後	2		2					※演習
	非言語コミュニケーション	3前	2							※演習
	イラストレーションデザイン	2後	2							※演習
	動画・音声編集	3前	2							※演習
	小計(5科目)	—	10		2	1				
プロジェクト 科目	社会情報学プロジェクトA-I	2後	2		1				兼1	※PBL 学生に分かりやすく するため授業科目名 称を変更 1-I (28)
	社会情報学プロジェクトA-II	2後	2		2	1				※PBL 学生に分かりやすく するため授業科目名 称を変更 2-II (28)
	社会情報学プロジェクトA-III	2後	2			1				※PBL 学生に分かりやすく するため授業科目名 称を変更 3-III (28)
	科目B 社会情報学プロジェクトB	3前	2		2	1				※PBL
	小計(4科目)	—	8		5	3				
メディア と文化	社会学的コミュニケーション論	2後	2		1				兼1	
	心理学的コミュニケーション論	2前	2		1					
	異文化コミュニケーション論	3後	2							
	現代文化とメディア	3前	2			1				
	身体メディア論	3後	2		1					
	言語メディア論A	3前	2		1					
	小計(6科目)	—	12		4	1				
公 務 と 法 律	憲法I	2前	2			1			兼1	
	情報法I	2前	2			1				
	政府情報システム論	2後	2			1				※演習
	行政法I	2前	2		1					
	政策情報論	2後	2			1				
	情報政治学	2後	2							
	小計(6科目)	—	12		1	4				
経 済 と 経 営	会計学I	2後	2			1			兼1	※演習
	現代経済入門	2前	2			1				
	経済情報論	2前	2			1				
	経営学I	2前	2			1				
	経営科学I	2前	2		1					※実習
	経営情報論I	2前	2		1					
	小計(6科目)	—	12		2	3				
視 点 領 域	社会心理学	3前	2		1				兼1 兼1	
	社会倫理I	3前	2		1					
	社会倫理II	3後	2		1					
	地域社会生活論I	2前	2		1					
	地域社会生活論II	2後	2		1					※PBL
	理論社会学I	2前	2		1					
	理論社会学II	2後	2		1					
	意思決定科学	2前	2		1					※演習
	集合的選択論	2後	2		1					※演習
	環境アセスメント	3前	2		2					
	環境アセスメント実習I	3前	1		2					
	環境アセスメント実習II	3後	1		2					
	環境科学演習	2前	1		2					兼1
	環境政策	3後	2		3	1				※演習
	環境政策実習	3後	1		2					
	自然環境論	2前	2							兼1
人間環境論	3前	2		1						

自由選択科目	生物環境論	2後		2		1									
		小計（18科目）	—		32		8	1							
	（メディア・コミュニケーション文化）	言語メディア論B	3後		2		1								
		言語学的コミュニケーション論I	2前		2				1						
		言語学的コミュニケーション論II	3前		2				1						
		地域メディア論	3前		2		1								
		小計（4科目）	—		8		2	1							
	（ディレクション領域）	環境法I	3前		2		1								
		環境法II	3後		2		1								
		企業法	3前		2										
		刑法	3前		2										
		経済法・知的財産法I	2後		2				1						
		経済法・知的財産法II	3前		2				1						
		憲法II	2後		2				1						
		公共政策論	2前		2				1						
		公法ケース・スタディ（事例・判例研究）	3後		1		1		1						
		行政学I	2前		2				1						
		行政学II	2後		2				1						
		行政法II	2後		2		1								
		情報社会と私法	3前		2		1								
情報法II		2後		2				1							
政策分析		2後		2				1							
地方自治A（伝統と改革）		3前		2				1							
地方自治B（研究と事例）		3前		2				1							
民法I		2前		2		1									
民法II		2後		2		1									
民法III		3前		2		1									
民法IV	3後		2		1										
小計（21科目）	—		41		2	4									
（ディレクション領域（経済と経営））	マクロ経済学	2後		2											
	ミクロ経済学	2後		2											
	会計学II	2後		2				1							
	金融論	2後		2											
	経営科学II	2後		2		1									
	経営学II	2前		2				1							
	経営情報論II	2前		2		1									
	経営戦略論	2前		2		1									
	経営組織論	3前		2				1							
	国際経営論	2後		2		1									
	生活経済政策	2後		2				1							
小計（11科目）	—		22		2	3									
キャリア教育科目	社会に学ぶ	1後～4後 4後～3後		2		1									
	仕事との現場を知るA（現代金融システム論）	2前・後 2前		2		1									
	仕事との現場を知るB（マスコミ論）	2前・後 2後		2		1									
	仕事との現場を知るC（情報通信ネットワーク）	2前・後 2前		2		1									
小計（4科目）	—		8		4										

※PBL

兼1
兼1

※演習

※PBL

兼1
兼1

兼1

※実習

※PBL

※演習

※演習

履修の選択肢を増やすため配当年次を拡大(28)

履修の選択肢を増やすため配当年次を拡大(28)

兼7 オムニバス

履修の選択肢を増やすため配当年次を拡大(28)

兼3 オムニバス

履修の選択肢を増やすため配当年次を拡大(28)

兼1 オムニバス

特別講義科目	社会情報学特別講義A	1後～4後 2前～3後								兼 1	履修の選択肢を増やすため配当年次を拡大(28) 履修の選択肢を増やすため配当年次を拡大(28) 履修の選択肢を増やすため配当年次を拡大(28) 履修の選択肢を増やすため配当年次を拡大(28)
	社会情報学特別講義B	1前～4後 2前～3後								兼 1	
	社会情報学特別講義C	1前～4後 2前～3後								兼 1	
	社会情報学特別講義D	1前～4後 2前～3後								兼 1	
	小計(4科目)	-		8							
社会情報学ゼミ		3通	4			14	10	2			
卒業研究		4通	4			14	10	2			
合計(151科目)		-	40	260		14	10	2		1	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
16	135		151	16	135		151	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 「該当なし」

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成28年4月 専任教授1名を新規 採用のため(28)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				点
		〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
		計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	群馬大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育学部 学校教育教員養成課程	4	220		880	学士(教育学)	1.04	H11	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地	平成28年度より 学生募集停止
社会情報学部			3年次				H11		
情報行動学科	4	50	10	220	学士(社会情報学)	—	H18		
情報社会科学科	4	50	10	220	学士(社会情報学)	—	H18		
社会情報学科	4	100	20	440	学士(社会情報学)	1.00	H28		
医学部			2年次					群馬県前橋市昭和町三丁目39番2号	
医学科	6	108	15	717	学士(医学)	1.00	S24		
保健学科	4	160	10	660	学士(看護学) 学士(保健学)	1.01	H8		
工学部								群馬県桐生市天神町一丁目5番1号	平成25年度より 学生募集停止
(昼間コース)									
応用化学・生物化学科	4	—		—	学士(工学)	—	H19		
機械システム工学科	4	—		—	学士(工学)	—	H元		
生産システム工学科	4	—		—	学士(工学)	—	H19		
環境プロセス工学科	4	—		—	学士(工学)	—	H19		
社会環境デザイン工学科	4	—		—	学士(工学)	—	H19		
電気電子工学科	4	—		—	学士(工学)	—	H元		
情報工学科	4	—		—	学士(工学)	—	H元		
学科共通	4	—	3年次	—	学士(工学)	—	H19		
(夜間主コース)									
生産システム工学科	4	—		—	学士(工学)	—	H19		
理工学部									
(昼間コース)									
化学・生物化学科	4	160		480	学士(理工学)	1.03	H25		
機械知能システム理工学科	4	110		330	学士(理工学)	1.07	H25		

環境創生理工学科	4	90		270	学士(理工学)	1.05	H25	
電子情報理工学科 (夜間主コース)	4	120		360	学士(理工学)	1.08	H25	
総合理工学科	4	30		90	学士(理工学)	1.05	H25	
学科共通	4	—	30	60	学士(理工学)	—	H25	
教育学研究科								群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
〈修士課程〉								
障害児教育専攻	2	3	—	6	修士(教育学)	1.33	H18	
教科教育実践専攻	2	20	—	40	修士(教育学)	1.17	H20	
〈専門職学位課程〉								
教職リーダー専攻	2	16	—	32	教職修士(専門職)	1.12	H20	
社会情報学研究科								
〈修士課程〉								
社会情報学専攻	2	14	—	28	修士(社会情報学)	0.57	H10	
医学系研究科								群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号
〈修士課程〉								
生命医科学専攻	2	15	—	30	修士(生命医科学)	0.66	H19	
〈博士課程〉								
医科学専攻	4	57	—	228	博士(医学)	0.98	H15	
保健学研究科								
〈博士前期課程〉								
保健学専攻	2	50	—	100	修士(保健学)	0.99	H23	
〈博士後期課程〉								
保健学専攻	3	10	—	30	博士(保健学)	1.10	H23	
工学研究科								群馬県桐生市天神町一丁目5番1号
〈博士前期課程〉								
応用化学・生物化学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	H19	
機械システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	H元	
生産システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	H19	
環境プロセス工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	H19	
社会環境デザイン工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	H19	
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	H元	
情報工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	H元	
〈博士前期課程〉								
工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	H19	

平成25年度より
学生募集停止

理工学府									
〈博士前期課程〉									
理工学専攻	2	300	—	600	修士（理工学）	1.07	H25		
〈博士後期課程〉									
理工学専攻	3	39	—	117	博士（理工学）	0.50	H25		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 「該当なし」

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<社会情報学部 社会情報学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>記入例)</p> <p>① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位</p> <p>② 施設・設備</p> <p>a 講義室〇室 (〇㎡)</p> <p>b 自習室〇室 (〇㎡)</p> <p>c 図書〇〇冊</p>	<p>① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)</p> <p>② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む) 「該当なし」

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p>

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
- b 教員や学生への公開状況、方法等

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 「該当なし」

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

記入例)

- ・平成28年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業(〇〇社)及び希望があった学生(〇〇名)に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定(平成28年8月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成28年度に評価機関(〇〇〇〇〇〇)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成28年 6月 1日)